
留学計画の立て方

4. 奨学金と留学費用

留学のための奨学金

- 様々な公的機関や企業、団体などが留学を支援する奨学金を持っている
- 値段は様々だが、交換留学の場合は月10万円程度支給されることが多い。
- 奨学金受給には通常審査に合格する必要がある、支給団体への報告義務もある。
- ほとんどの学生が何らかの奨学金を利用している

公的機関からの奨学金の例

- JASSO奨学金

一番スタンダードな奨学金。毎月の確認メールと終了後の簡単な報告書のみ。

金額：国や都市にによって受給できる金額が異なるが、毎月**6~10万円**が支給額。

条件：返済不要で成績優秀(だいたい**GPAが4.0中の3以上**あればいいはず)ならもらえます！

選考：志望理由を記載した出願書類などは必要ない。

特に審査なども厳しくないの一番たくさんの方が利用するかと思います。

メリット：負担がとても少ない。

デメリット：それほど支給額は多くない+併願が不可

民間からの奨学金の例

- 業務スーパージャパンドリーム財団 派遣留学奨学生

金額：月額15万円 (併願不可だが、名大海外留学奨励制度による渡航費の受給は可能)

条件：派遣時に2年生以上の学部生。緩めの語学要件あり。

選考：派遣年の1月に学内締め切り。指導教員の推薦書が必要なので注意。取得単位等の成績を提出する必要がある。書類審査後の2次審査は神戸で集団面接。

帰国後に5ページ程度の報告書を提出。

帰国後に留学報告会という名のセミナーのようなものがオンラインで開催された。

メリット：他の民間奨学金よりも負担が軽く、受給額が多い。

デメリット：トビタテなどに比べて派遣生のコミュニティがない。

その他の奨学金

- 名古屋大学渡航支援金

成績優秀者に渡航にかかる費用を負担してくれる。(16万円)

JASSOとも併用可能

- その他

<http://ieec.iee.nagoya-u.ac.jp/ja/abroad/scholarship/index.html>

こちらのサイトに多数紹介されています！

費用について ウプサラ大学Aさんの例

自己負担金

自己負担総額：50～200万円（私は約70万円）

奨学金：月8万～16万（私は16万円）

【ある一ヶ月の支出】	
寮費	5万円
食費	1.5-2万円
交通費	1万円
旅行費	7万円
その他	3万円（交際費、日用品など）
計	約18万円
自己負担額 （奨学金との差し引き）	約2万円

自分は“トビタテ留学JAPAN”から奨学金をもらっていました。
“業務スーパージャパンドリーム財団”という月15万円もらえる奨学金も要チェック。
JASSOのHP要参照

その他
航空券…15万円
保険…9万円

コペンハーゲン大学の私の例(およそ)

- 家賃: 10万円(7月から翌年6月まで)
- 食費含む1ヶ月の支出: 3~4万円
- 通信費: 60ギガで月1600円ほど
- 旅行のための交通費: 往復で1万円~2万円
- 奨学金: JASSO+名大渡航支援金
- 保険: 20万円程度
- コロナによる緊急帰国のため、当初の航空券が使えず、追加で30万円ほどマイナス
☹️

合計で100~120万円ほどが自己負担。しかしレギュラー事項を留意！